

ささやま

9

第100号

平成26年8月21日発行

contents

- p2 ふれあい・いきいきサロン
- p3 音訳(朗読)ボランティア養成講座
ファミリーサポートセンター
- p4~5 平成25年度事業・会計報告
- p6 福祉サービス利用補助事業
食事サービスのご利用案内
- p7 点訳養成講座のお知らせ
篠山市災害支援市民ボランティア募集
- p8 情報ボックス



学生ボランティア養成講座

今、私たちにできること

7月31日(木)、丹南健康福祉センターにおいて、高校生を対象に災害支援ボランティア活動の基礎知識や、レクリエーションを学ぶ「学生ボランティア養成講座」を、開催しました。

社協職員から東日本災害支援ボランティアの活動と現状の報告を聞き、参加者は災害ボランティアの心構えと被災者の意思を尊重し活動することを学びました。

レクリエーション講座では、神戸医療福祉大学教授の田島栄文氏による研修を行い、相手の気持ちを考え、言葉を選びながらコミュニケーションを図ること、楽しく会話をすること、でも、レクリエーションになり、『褒める、励ます、安心させる』ことで、相手を前向きな気持ちにさせる

効果があることを学びました。

そして、身近な物を使ったレクリエーションを教えていただき、参加した学生からは、「声の掛け方で、楽しく和やかな雰囲気を作れることを知って、勉強になった」「ジャンケンでも、全身の動きを加えることで多くのバリエーションが生まれることに驚いた」などの感想がありました。

ボランティア活動をする学生の姿をよく目にします。自分に何ができるのか。実際に参加し、体験することで、「学生だからできること、学生にしかできないこと」が見えてくるかもしれません。

社協では、学生が参加できるボランティア活動の推進に取り組んでいきます。

ふれあい・いきいきサロン

地域のふれあい拠点

上板井
七夕会

7月19日(土)、上板井公民館において、「多世代ふれあい七夕会」を目的に、いきいきサロンが、開催されました。

当日は、地域の高齢者に加え、夏休みで帰省している子どもたちや保護者まで、幅広い年齢層の方(70名)が参加されました。棒体操で体を動かしたあと、市保健師による熱中症予防の講話を聴きました。農作業中や、締め切った室内で発症しやすい熱中症の予防や手当について、

熱心に学ばれました。その後、みんなで七夕飾りや、願いごとを込めた短冊を、笹につるしました。

昼食は、手作りのちらし寿司と、流しそうめん、かき氷が振る舞われました。流れてくるそうめん、子どもたちは大喜びで、楽しい夏の日となりました。



う～ん、おいしい!

北新町
いきいきサロン

7月23日(水)、北新町公民館において、いきいきサロンが開催されました。

夏休み特別企画として、子どもたちが、自分たちの住むまちの歴史を学び、郷土愛を育み、地域の人たちとの交流を深めました。

公民館には、篠山藩主・青山家に伝わる掛け軸や生活道具が展示され、さながら歴史美術館のようでした。

篠山藩の歴史について、柳田

堅一さん(北新町)が説明され、当時の生活や篠山藩の様子がよくわかりました。

参加者からは、「普段見ることのできない貴重な品々を見られて、良かったです。生活道具から当時の暮らしがよく分かります」「地元の歴史や伝統の奥深さを感じます」といった感想があり、地域の歴史を通じて、住民同士の交流が図られました。



公民館が歴史美術館に!

ふれあい・いきいきサロンとは

ひとり暮らし高齢者、地域で見守りが必要な方の社会参加を目的に、住民の交流の場、仲間作りの拠点となるのがサロンです。

篠山市社協では「ふれあい・いきいきサロン事業」を始める自治会に助成します。

また、サロン活動のレクリエーションを紹介したり、相談に乗ったりしますので、気軽に相談ください。



元NHKアナウンサー村上信夫氏 語る 朗読は想像力! 想像のツバサを広げよう



講師:村上信夫氏

元NHKエグゼクティブアナウンサーの村上信夫氏を講師に招き、7月14日(月)、丹南健康福祉センターにおいて、「音訳(朗読)ボランティア養成講座」の特別講座を開催し、受講者25名は、村上氏の話に熱心に耳を傾けていました。

講話の後、長谷川義史さんの絵本『へいわって、すてきだね』を受講者一人づつが朗読し、「間を大切に」「読むスピードで変化をつける」「声のトーンでインパクトを強める」「語尾まで読む」などのアドバイスをいただき、25人の思い思いの朗読を聴くことができました。



講話

朗読にマニュアルはなく、自分流でいい。聴き手となる相手がいるので、感情の押し売りや、独りよがりにならないように気をつけよう。作者がどんな事を想って書いたのか、黙読することで、頭に映像を思い浮かべ、想像のツバサを広げよう。そのうえで相手に「伝わる」ように朗読することが重要である。朗読で大切なのが「間」を意識すること。聴き手は「間」のあいだに、色々な想像を思い巡らせるのだ。

朗読ボランティアグループの現状と課題

市内に朗読ボランティアグループが3団体ある。主な活動は、視覚障がい者に対し、市広報や社協広報などを音訳したCDを作成し届けること。やりがいのある活動だが、メンバーの減少や、高齢化が進み、今後活発な活動を行っていくためにも、会員の獲得が不可欠である。

会員養成講座、フォローアップ講習会



子育て中の保護者に代わって、一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンター事業は、社協が行う子育て支援のひとつです。ファミリーサポートセンターでは、保護者が安心して利用していただけるよう、協力会員向けの講座や講習会を開催しています。

年に一度開催する会員養成講座は、子どもを楽しく安全に預かるための基礎講座で「子どもとの関わり方」「子どもの身体の発達と病気」「AEDと心肺蘇生法」の3講座を開催します。

本年度のフォローアップ講習会は、子育てに関する講義、食育を交えた調理実習、講師を招いてのリズム遊びやおもちゃ作りを計画し、年3回行っています。

センターでは、子どもが、温かい家庭の雰囲気の中で安心して過ごせるよう、このような活動を引き続き行っていきます。

子どもが好きな方、何か地域の役に立ちたいと思われている方、ファミリーサポートセンターの活動に興味のある方は、一度ぜひご参加ください。

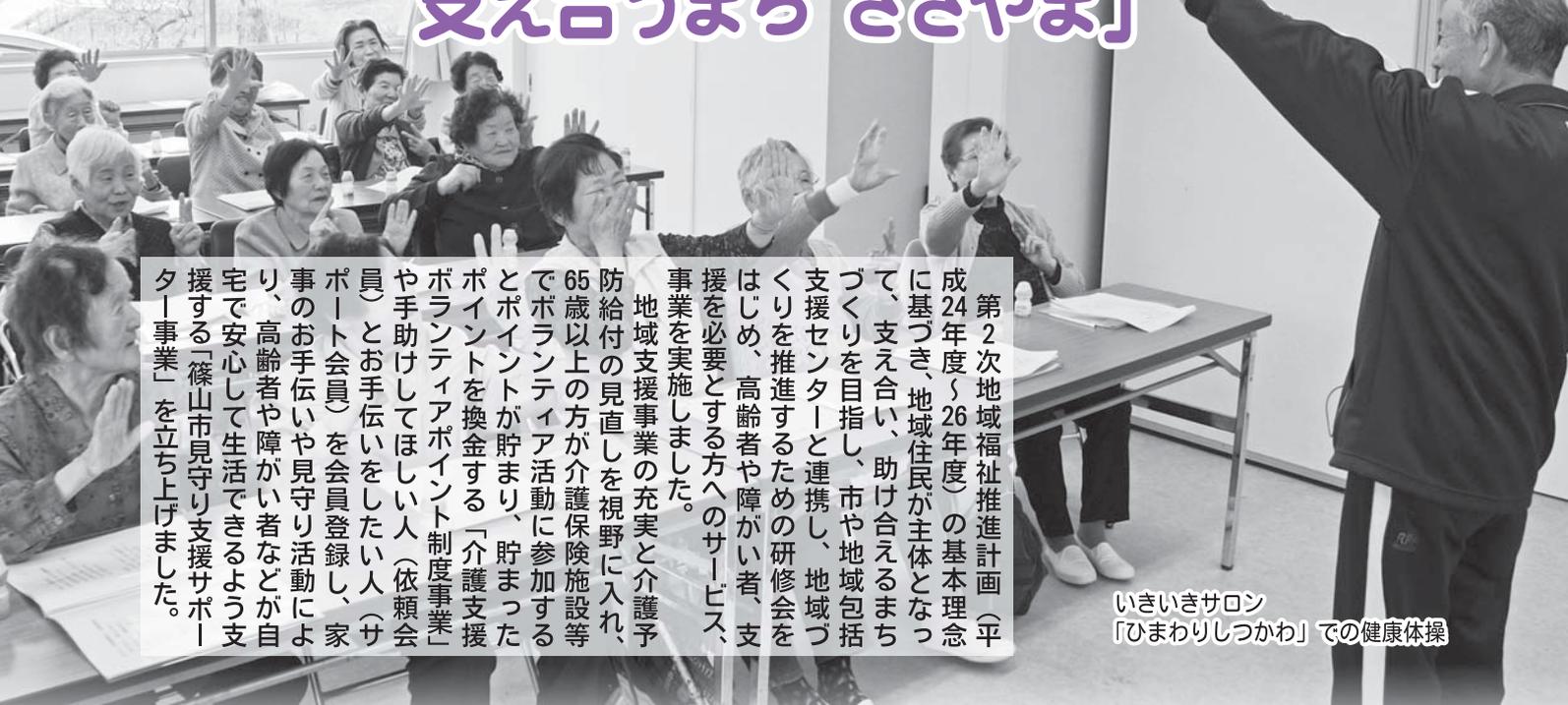
ファミリーサポートセンター

問い合わせ先 ☎590-1388
篠山市ファミリーサポートセンター 担当 林 直美

事業・会計報告

基本理念

「みんなが主役 支え合うまち ささやま」



いきいきサロン
「ひまわりしつかわ」での健康体操

第2次地域福祉推進計画（平成24年度～26年度）の基本理念に基づき、地域住民が主体となつて、支え合い、助け合えるまちづくりを目指し、市や地域包括支援センターと連携し、地域づくりを推進するための研修会をはじめ、高齢者や障がい者、支援を必要とする方へのサービスマニエッタ事業を実施しました。

地域支援事業の充実と介護予防給付の見直しを視野に入れ、65歳以上の方が介護保険施設等でボランティア活動に参加するとポイントが貯まり、貯まったポイントを換金する「介護支援ボランティアポイント制度事業」や手助けしてほしい人（依頼会員）とお手伝いをしたい人（サポート会員）を会員登録し、家事のお手伝いや見守り活動により、高齢者や障がい者などが自宅で安心して生活できるよう支援する「篠山市見守り支援サポーター事業」を立ち上げました。



四者合同研修会における地域課題の話し合い

1 地域住民や様々な組織、団体の参加による元気な福祉コミュニティづくり

自治会長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員が集まり、顔が見える福祉活動の展開と福祉課題の解決を目的に、市内19地区で「四者合同研修会」を開催しました。

今後の活動を見据え、これまでに培われた地域の福祉力を生かすため、地域福祉を担う団体や関係機関にも参加を呼びかけ「地区福祉会議」の開催につなげました。



手話奉仕員養成講座で学ぶ受講生

2 地域で活動できる人材の発掘と育成（ボランティア活動の推進）

新たなボランティア層の発掘と育成を図るため、市内の中学生、高校生に参加を呼びかけ「学生ボランティア養成講座」を開催しました。

また、「手話奉仕員養成講座」「点訳奉仕員養成講座」「要約筆記者養成講座」を開催し、聴覚障がい者や視覚障がい者のニーズに沿った人材の育成を行いました。

3 災害時の対応・体制等の整備と強化（各種団体との連携）

市の補助を受け2回の「東北震災支援ボランティア派遣」と兵庫県美方郡の豪雪地区へ「除雪ボランティア派遣」を行いました。今後懸念される大規模災害に備え、西紀北地区の防災訓練に参加し、職員防災マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施し、災害支援体制の確認を行いました。



除雪作業で生活道路の確保を



仮設住宅でハンドマッサージを行う学生ボランティア

4 福祉教育・福祉学習の充実



福祉教育推進事業における車いす体験の様子

障がい者、高齢者等への理解を深めるため、小・中・高等学校において、車いすやアイマスク体験、福祉講話による福祉体験学習を開催しました。

5 権利擁護意識の高まりを 目指し、事業の整備・充 実を図る

地域住民一人ひとりの権利擁護に対する意識を高めるため「権利擁護支援者養成講座」を開催しました。「法人後見」「権利擁護センター」の体制整備について、各関係機関と協議検討を重ねました。

6 地域包括支援センターを 中心とした支え合い体制 づくり

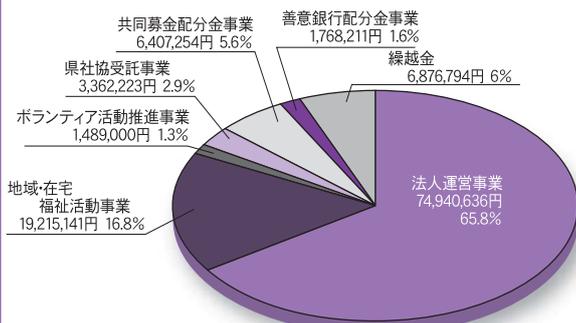
地域包括支援センターの目的を果たすため、「公共性」「地域性」「協働性」の視点に立ち、地域のサービス利用者や事業者、関係団体、市民の意見を幅広く汲み上げ、課題の解決に努めました。また、「地域ケア会議」の開催等により、個別事例の検討を通じて、他職種協働によるケアマネジメント支援を行い、地域ネットワークの構築につなげました。



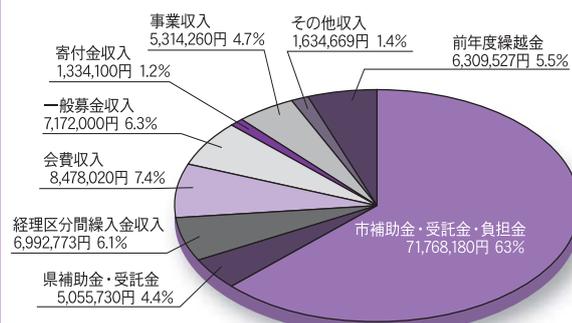
地域の老人クラブでの健康講座

平成25年度 社会福祉事業会計

支出 114,059,259円



収入 114,059,259円



「自分らしく、住みなれた地域で暮らしたい」その思いを社会福祉協議会がお手伝いします！

福祉サービス利用援助事業

(日常生活自立支援事業)

●このようなお困りごとがありませんか？



利用できるサービス

- (1) 福祉サービスの利用援助
- (2) 日常的な金銭管理
- (3) 通帳、印鑑、公的書類の預かり
- (4) その他
 - 郵便物や通知物の管理、確認
 - 定期的な訪問による生活変化の把握

利用できる方

自宅で生活しているが、日常生活の判断に不安があり、ご本人の利用意思が確認できる方です。
身近な地域でお困りの方がおられましたら、社会福祉協議会までご相談ください。

〈問い合わせ先〉 篠山市社会福祉協議会 地域福祉課 担当:奥山彩子 ☎ 590-1112

食事サービスのご利用案内



篠山市社協では、日々の食事づくりに困っている高齢者や障がい者に、手渡しによる安否確認を兼ねた、昼食の宅配サービスを実施しています。

お申し込みには、担当民生委員さん等に世帯状況の確認をしていただく必要があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

事業名	給食サービス事業	配食サービス事業
申請先	篠山市社会福祉協議会	篠山市役所 地域福祉課 高齢支援係
実施日	毎週水曜日	毎週金曜日
利用料	1食450円	1食500円(減額の場合は、1食350円) ※減額には別途申請が必要です
世帯確認者	民生委員・児童委員	民生委員・児童委員、介護支援専門員
調理・配送	ボランティア 障がい者福祉事業所	障がい者福祉事業所

〈申し込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 担当:吉田桃子 ☎ 590-1112
篠山市役所 地域福祉課 高齢支援係 ☎ 552-5346

点訳奉仕員養成講座(初級編)のお知らせ

目の不自由な方が、地域で安心して暮らせるように、視覚障がい者への理解を深め、点訳に必要な基本的な技術を学びます。点訳ボランティア活動に興味がある方、また、一緒に活動してくださる方を募集します。みなさんのご参加をお待ちしています。

- 講義日程** 平成26年9月24日～11月26日 毎週水曜日
午後1時30分～3時30分 (全10回)
- 場 所** 篠山市立丹南健康福祉センター 第1会議室(2階)
- 講 師** 丹南点訳アイ・愛サークル会員
- 募集人数** 25名
- 受講料** 無料 (テキスト代 1,080円は自己負担)
- 申込締切** 9月17日(水)



※丹南点訳アイ・愛サークルより報告
(公財)車両競技公益資金記念財団の助成金により、「点字プリンタESA721Ver'95」を購入いたしました。

〈申し込み・問い合わせ先〉 篠山市社会福祉協議会 担当:松本ますみ ☎ 590-1112

第16次

東日本大震災

篠山市災害支援市民ボランティア募集

- 実施日** 平成26年9月19日(金)～22日(月) ※バス車中2泊、ホテル1泊
- 行き先** 宮城県南三陸町
- 活動内容** 仮設住宅での支援活動及び漁業、農業支援(調整中)
- 募集人員** 20名 ※篠山市民で初回の方を優先します
- 受付日** 8月8日(金)～9月10日(水) 平日の午前9時～午後5時 電話、窓口受付のみで先着順とします
- 参加費** 8,000円(ビジネスホテル「ルートイン登米」宿泊料、ボランティア活動保険代)

日程・内容

日	時	内 容
9月19日(金)	午後5時	丹南健康福祉センター集合 出発(バス車中泊)
	午後6時	
9月20日(土)	午前8時	宮城県南三陸町到着 ○ボランティアセンターの農業、漁業支援 宿泊先「ルートイン登米」到着、宿泊
	午前9時～午後4時 午後5時	
9月21日(日)	午前8時	ホテル出発(朝食付)、南三陸町仮設住宅へ ○南三陸町仮設住宅での支援活動及び語り部による現地視察 現地出発(途中入浴あり、バス車中泊)
	午前9時～午後4時 午後4時	
9月22日(月)	午前7時	丹南健康福祉センター帰着

〈申し込み・問い合わせ先〉 篠山市社会福祉協議会 担当:小谷隆幸 ☎ 590-1112

善意銀行だより

7月1日～31日預託分 (敬称略)

金銭預託

松本 美千代(井ノ上) 善意の預託 …… 3,000円
藤木 千皓(小中) 善意の預託 …… 20,000円
昭和27年川内中学校卒業同級生一同
善意の預託 …… 5,020円

指定預託

篠山鳳鳴高等学校インターアクト部
福祉教育助成金事業 …… 20,500円

物品預託

芦田 富基子(今田町芦原新田) 鉢植えの花 7鉢
……今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田 成代(垣屋) 折り紙細工 ……給食サービス
西澤 昭美(栗柄) 折り紙細工 ……給食サービス
細見 茂子(本郷) じゃがいも35kg、にんじん8.5kg
……給食サービス
小谷 重二(知足) じゃがいも97kg、ししとう5.5kg、大根17kg、かぼちゃ10kg
……給食サービス
数元 とみ子(草野) ピーマン4.5kg ……給食サービス
園田商店 大山すいか3玉 ……給食サービス
匿名 玉ねぎ9kg ……給食サービス
匿名(大山下) はがき200枚 ……老人クラブ連合会各支部
匿名 石鹸、タオル ……障がい者福祉事業所



篠山鳳鳴高等学校 インターアクト部から寄付

6月に開催された鳳鳴祭で募金活動をされ、集まったお金20,500円を、善意銀行に寄付していただきました。寄付金は、福祉教育助成金事業に活用します。
ありがとうございました。



新入職員紹介

訪問介護事業所でお世話になることになりました。「自分らしく、住み慣れた地域で暮らしたい」の思いを大切に、日々の訪問介護サービスを行っていきます。
よろしくお願いいたします。

訪問介護事業所
塚本香代子

篠山市が実行委員会をつくり、上映をすすめる映画「じんじんに」に、社協も構成団体として加わり、その試写を観ました。映画は、絵本のまち、北海道釧路町を舞台に、父と娘の揺れ動くころ…その結末は…まさに心に「じんじん」と思春期の娘をもつ男親には、微妙に現実と映像が重なります。9月23日、たんば田園交響ホールで上映予定。機会があればご覧ください。

あとがき



篠山市ファミリーサポートセンター



第2回フォローアップ講習会 子育て講演会

～子育てが楽しくなる～
今からすくに出来ること

と き：10月10日(金) 10時～12時
ところ：四季の森生涯学習センター東館 大会議室
講師：辻中 公さん(大和騷伝承学 Re produce代表)
内容：講演と伝承遊び
託児：あり(生後6か月以上の子ども・5名まで要予約)
申込期間：9月8日(月)～10月8日(水)
※託児を希望される方は、子どもの荷物をひとつにまとめ、すべての持ち物に必ず名前を付けてください。
※生後4か月以上6か月未満のお子さまは、会場内で一緒にお聞きください。
主催 篠山市教育委員会 ふた葉プロジェクトチーム
協力 篠山市福祉総務課 子育てふれあいセンター
篠山市ファミリーサポートセンター

子ども一時預かり “かんがるー”

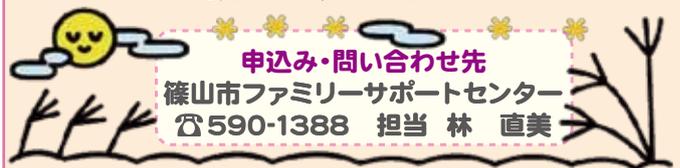
城東地区・今田地区でも
開催します



と き：9月3日(水)、18日(木)
10月7日(火)、22日(水)
※午前10時～12時(受付9時45分～)
ところ：四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)
9月3日(水) 城東公民館 和室(1F)
10月7日(火) 今田まちづくりセンター(1F)
定員：10名(生後6か月～就学前のお子さん)
利用料：子ども1人につき 1回500円
申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください

★利用には申し込みが必要です
★会員以外の方もご利用できます
★定員になり次第、締め切らせていただきます

詳しくはファミサポまで



心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

と	き	ところ
9/5(金)	9:00～11:30	丹南健康福祉センター
9/12(金)	9:00～11:30	篠山市民センター
9/19(金)	9:00～11:30	丹南健康福祉センター
9/25(木)	13:30～16:00	ハートピアセンター
9/26(金)	9:00～11:30	篠山市民センター